

編輯室の内外

霜露既に降り木葉漸く脱するの頃となつて書に親しむべく筆硯亦親しむべきの好時節であるが、一號國道視察自動車旅行の爲めに其の準備やら實行やら後始末などで案外多忙を極め本號編輯上遺憾の點も多からざるを思ひ謹んで御詫の一言を述ぶる以第である。次號は一號國道視察に關して特輯號とした編輯の見込みである。同視察に參加された各位の感想文の玉稿を切望する原稿一切は十一月十五日である希くは速かに御投稿せられんことを。

一號國道中三重縣内の所謂參宮街道は沿線地の産業極めて殷賑を來したのに舊の如く其の幅員狭くして自動車が行違ひは許されず而も迂曲甚しき縣の脊髄であるのてさしむしからぬ状態である。笠と笠ついで履む伊勢詣の道である。此儘すて置くべきでない。地元の勿論政府でも大々的の決意を以て一日も速かに大改良を施さるべきが急務であると感じる。道路王のサミール、ヒルが大正七年來遊の年十二月二十九日東京商業會議所にての講演はバケツ演説として傳へられたる有名道路改良上の大衝撃を與へたることは有名不詳であるが同氏は滯京中東京市内道路の不完全なるに驚き、貨物に行くのを、道路と云ひ自動車道を、と云ひ雨中街路を往來し船會社長は近藤(郵船會社社長)淺野(東洋汽船會社社長)の兩男爵であると言つた。河海かの如くであるとの意味を充分に言ひ現はして居る。今日の諷刺は如實に其の狀を説明して居る。今日同氏にして我帝都を見られたならば、今昔の感に堪へざるものがある。

が如きことがあつてはならぬ。該問題の歸結は勿論其の辿り行く過程に關しても深甚の注意を加ふるの要がある。東京驛頭から麴町半藏門外に出づる洪水の如き自動車輻輳を如何に解決すべきかは急速に處理しなければならぬ問題である。が頃日元代田町賞勳局の所から凱旋道と分岐し、ロイヤリヤ先凱旋道と直交し、そこにロータリヤを設け、そこから凱旋道と直交する所に陸橋を掛け、新道はその橋下をくゞつて又徐々地上に出で、拓務省前出の事である。注目に値するものと思ふ。先述しては鐵道の運輸を妨害したとの事があつたが今度は風が木の葉を無量に飛ばし、事件がある天のいたづらも甚しいと言はざるを得ない。(洗)

定價一部 五十錢  
一ヶ年分 金六圓  
發行所 東京市麴町區外櫻田町一番地内務省內  
社団法人 道路改良會  
電話銀座(7)四二七  
東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二  
發行所 小島 效  
編輯者  
印刷所 東京市小石川區諏訪町五六  
常磐印刷所  
印刷者 奈良良直 一